

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第4区分  
 【発行日】平成18年6月1日(2006.6.1)

【公表番号】特表2005-522809(P2005-522809A)

【公表日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-029

【出願番号】特願2003-582767(P2003-582767)

【国際特許分類】

**G 1 1 B 20/14 (2006.01)**  
**H 0 3 M 7/14 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B	20/14	3 4 1 A
H 0 3 M	7/14	B

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月10日(2006.4.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

DC制御を用いてチャネル符号を生成する方法であつて、  
 P個のnビット入力ワードのストリームをP個のmビット符号ワードのストリームに変換するステップと、

N R Z I変換器を利用して、前記P個のmビット符号ワードのストリームをP個のmビット出力ワードの出力ストリームに変換するステップと、  
 を有する方法において、

前記出力ワードの出力ストリームのランニング・ディジタル・サムを決定するステップと、

前記ランニング・ディジタル・サムに応じて、Q個のmビット置換符号ワードの置換シーケンスによって、Q個のmビット符号ワードのシーケンスを置換するステップと、  
 を有し、前記置換シーケンスは、該置換シーケンスが置換する前記符号ワードのシーケンスと等しい長さであり且つ異なるパリティを持ち、nビット入力ワードのいずれのストリームのmビット符号ワードへの変換時にもmビット符号ワードのストリームに出現するものでないことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記方法はDC制御の更なる方法の後に利用されることを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

各前記方法は、他方の方法の前記ランニング・ディジタル・サムにおける影響を考慮に入れて前記ランニング・ディジタル・サムを決定することを特徴とする、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記P個のnビットワードのストリームをP個のmビット符号ワードのストリームに変換するステップは、パリティ保存符号化器を用いて達成されることを特徴とする、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

前記 Q が 4 以上であることを特徴とする、請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の方法。  
。

**【請求項 6】**

前記チャネル符号の符号制約が保存されることを特徴とする、請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 7】**

17PP 符号化器が、前記 n ビット入力ワードから m ビットワードのストリームへの変換を実行することを特徴とする、請求項 4 乃至 6 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記置換シーケンスは、テーブル：

1:101 001 010 100 -> 100 100 100 100
2:010 001 000 101 -> 010 000 000 101
3:001 001 000 101 -> 001 000 000 101
4:101 000 010 010 -> 100 100 000 010
5:101 001 000 001 -> 100 100 000 001
6:101 000 100 101 -> 101 000 000 101
7:101 000 100 010 -> 101 000 000 010

から選択されることを特徴とする、請求項 4 乃至 7 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 9】**

請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の方法を利用する符号化装置。

**【請求項 10】**

請求項 9 に記載の符号化装置を有する記録装置。